

A コース：博物館と発掘現場で体感する日本一のモササウルス化石

実施日：8月21日（金）

定員：17人（3人）

参加費（概算）：6000円 * 昼食代及び博物館入館料は別

地形図（必要な場合）：2.5万分の1「金屋」

案内者：小原正顕

集合：9:00 JR 紀勢線「海南駅」改札口

解散：15:30 和歌山県立自然博物館

おもな見学内容：モササウルス類化石発掘現場及びその周辺に分布する外和泉層群鳥屋城層（上部白亜系カンパニアン）の露頭を見学する。和歌山県立自然博物館収蔵庫にてモササウルス類の化石（実物）を見学する。

【魅力と見どころ】

国内唯一のモササウルス類の全身骨格化石を産出した有田川町鳥屋城山の発掘現場を見学した後、発掘中に出た化石含有層の転石を割って化石を探す調査体験ができる（調査体験中に発見された化石の持ち帰りは不可）。和歌山県立自然博物館では、モササウルス類化石の産状レプリカをはじめ、和歌山県内で発見されたさまざまな化石を見学できる（岩石、鉱物のほか、動植物の展示、水族館スペースもあり）。収蔵庫では、普段は非公開のモササウルス類の化石（実物）を見学できるほか、その他の化石や鉱物等の収蔵標本についても、リクエストに応じての閲覧可能。



写真：（左）モササウルス類の頭骨 （右）と右前肢の化石

備考：フィールドでは日陰はないので、熱中症対策をとって下さい。なお、新型コロナウイルス感染症の状況によってはフィールドへの移動は中止し、博物館での見学のみとなる可能性もあります（その場合、参加費は博物館入館料のみとなります）